

企画総務委員会 送付29-22

神田小川町三丁目西部南地区再開発を早く進める陳情について

受付年月日 平成29年11月27日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

私は、神田で生まれ育ち、街の皆様、地域の皆様との繋がりを大切に父から引き継いだ家業は本年で96年を迎えています。

戦後の我が国は急速な復興から発展を遂げ世界を驚かせました。我が街も暮らす人や訪れる人で賑わい、町会も商店会も大変に元気な街でした。そして、バブル時代の到来……。その後、街は徐々に低迷期に向かい未だにかつての元気はありません。そして現在のインターネット社会は街のあり方を大きく変えてきています。中央区や港区など他区の地域では、街の特性や個性を生かした街づくりによって街の再生を進めています。時代の要請に応えられる街とは何かと、私たちはおよそ10年をかけて勉強し、話し合いながら街の将来について熟慮を重ねて検討してきました。この地域には古書店、スポーツ用品店、楽器店が多く集まる特殊な魅力があり、今後も若い人々と共存できる街である事も確認してきました。職種が異なる方々が共に手をつなぎ理想を共有すれば、他の地域では真似のできない個性と魅力ある街となるでしょう。私たちの再開発計画はこの人々の繋がりを深めて行くことに関わり、少しでも協力ができればと考えたものです。

一方では先の東日本大震災を機に私は防災という言葉に強く意識するようになりました。国も東京都も防災の地域対策を最重要課題の一つとしています。この地域は日大病院をはじめ大きな病院群の集積地でもあります。災害時には、区内、都内からの被災者の搬送先とも聞いています。有事に備え道路の整備も必要と思います。また、街を挙げての助け合い、支援に協力できる設備を持った建物も必要と思い、その事も念頭に置きながら街の事を考えていますが、その実現は再開発の手法なくしては考えられません。

先般、区の説明会が延期となった事は、残念の極みと受け取っています。多くの仲間達も事業の停滞には落胆しています。私は地域の皆で始めたこの再開発事業は地域に貢献できる事業であると思っています。小川町や神保町などこの街を大切に思う方々と一緒に、この街に住み続け、商売を続け、街の賑わいを取り戻し、災害に強い街を実現する為に再開発事業の手続きを一刻も早く進めて頂けるようご支援ください。

地権者の多くは理想を語り合った、活力のあった年代も過ぎつつあります。私も馬齢を重ね高齢の域に達しています。私たちの夢を引き継ぐ若い方々へのバトンタッチのできる時節も永くはありません。焦る気持ちもご覧察(原文ママ)頂き重ねてお願い申し上げる次第です。

平成29年11月24日

千代田区議会議員 松本 佳子 殿